

本書は、読んだあと大切に保管してください。

Aterm® WD600シリーズ



つなぎかたガイド

インフォメーションサービス

本商品の機能や取り扱い方法などで不明な点がございましたらお問い合わせください。
(故障が発生した場合は、ご契約のプロバイダ/接続事業者にお問い合わせ先にご連絡ください。)

●Aterm (エーターム) インフォメーションセンター イー・アクセス担当窓口

お問い合わせの前には、「イー・アクセス登録番号」をご用意のうえ「確認シート」をご記入ください。この情報をもとに内容をお伺いいたします。
「確認シート」は添付の「お使いになる前に」(別冊)に入っています。

ナビダイヤル 0570-011112

携帯電話用電話番号 04-7181-0684

お問い合わせ受付時間

午前9時～午後6時 (月～金曜日)・午前9時～午後5時 (土曜日)
(日・祝日、年末年始、当社の休日はお休みさせていただきます)

- ナビダイヤルおよび携帯電話用電話番号への電話料金はお客様のご負担となります。
- IP電話の設定およびご利用に関するお問い合わせは、ご契約のプロバイダ/接続事業者にお問い合わせ先にご連絡ください。
- パソコンの設置や操作方法などについては、パソコンのサポートセンターなどにお問い合わせください。回線接続の条件などを満たしていない場合や、モデムのご契約およびご解約については、プロバイダにお問い合わせください。

●ホームページ: <http://www.aterm.jp/eaccess/> Atermに関する情報を掲載しています。(2006年10月現在)
※Atermの機能や取り扱い方法などで不明な点がございましたら、上記ホームページの「お悩み問題解決手順」をご参照ください。
解決しない場合は、専用フォームにてお問い合わせ (返信はメール) いただくことができます。

Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 Netscape®は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
Mac, Macintoshは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。 JavaScript®は米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。 © NEC Corporation 2006. © NEC AccessTechnica Ltd. 2006

※この取扱説明書は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

STEP 1

箱の中身をチェックしよう

●本商品が到着したらすぐに添付品をご確認ください。不足しているものがございましたら、2週間以内に上記のAtermインフォメーションセンター イー・アクセス担当窓口にご連絡ください。

- 本体
- 縦置きスタンド
- ADSL回線ケーブル (コネクタ: 小)
- ETHERNETケーブル (コネクタ: 大)
- ACアダプタ
- スプリッタ
- つなぎかたガイド(本書)
- お使いになる前に (別冊)
- IP電話使いかたガイド(別冊)

STEP 2

接続して電源を入れよう

●電源は、接続がすべて完了したあとに入れてください。

接続を始める前に

モジュラージャックに接続しているケーブルは、取り外します。

本商品を接続するには、パソコンにLANポート (ETHERNETポート) [100BASE-TX/10BASE-T] が必要です。装備されていない場合は、市販のLANカード/LANボードを購入して、取り付けとOSに対するドライバのインストールを行っておいください。

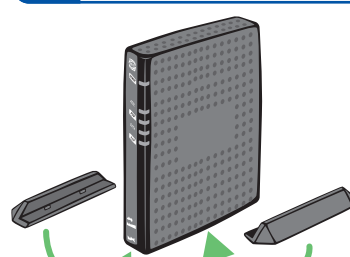
2 アース線を接続する

アース線は添付されていません。お客様のご使用環境に合わせて別途ご準備願います。アース線の接続なしでも機器は正常に動作しますが、雷保護などのお客様の安全上、アース線を接続してご使用ください。詳細は「お使いになる前に」(別冊)に記載されている「△警告」の「電源」を参照願います。なお、アース線はお近くの電器店などにてお求めいただけます。

7 ACアダプタを接続する

- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものを使用してください。
▶ 装置故障・発煙・発火の恐れがありますので、他の装置のものは使用しないでください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品には使用しないでください。
- ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。

1 縦置きスタンドを取り付ける



5 パソコンを接続する

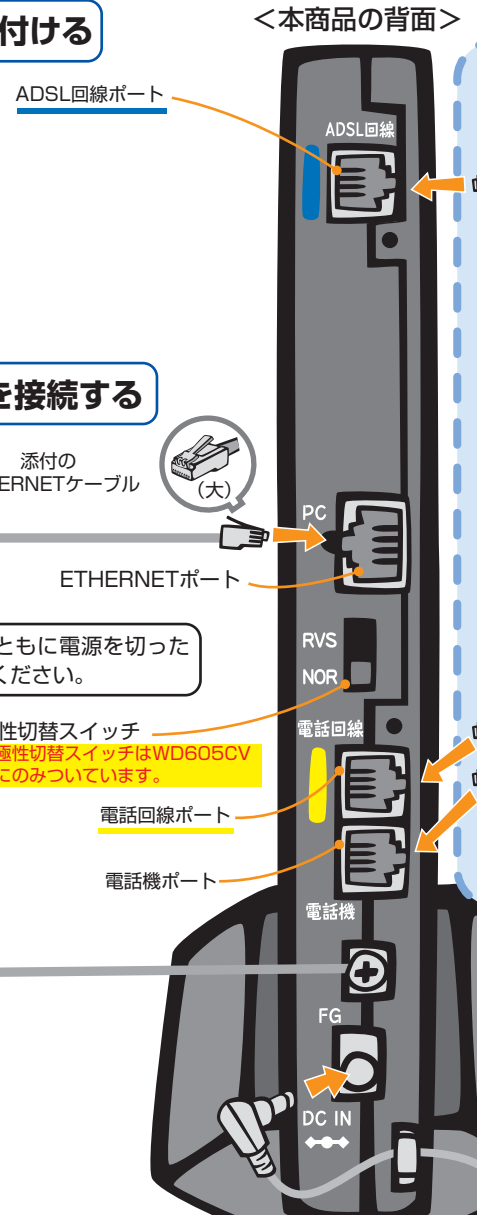
添付のETHERNETケーブルをETHERNETポートに接続します。パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

6 電源ジャックを接続する

- 本商品およびACアダプタは、直射日光の当たるところや、ストーブ・ヒーターなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 本商品およびACアダプタは、テレビや電子レンジの近くに置かないでください。
▶ 通信に影響することがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。次のような使い方はしないでください。
・横向きに寝かせる
・収納棚や本棚などの通風の悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

※詳しくは、添付の「お使いになる前に」(別冊)に記載しておりますので、用法を守り、ご使用ください。特に、火災、感電などの原因となり、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。また、故障など物的損害の発生が想定されます。

<本商品の背面>



IP電話をご契約されている場合

3 ADSL回線に接続する

- ※ADSL専用回線タイプ (タイプ2) の場合もこの手順で接続してください。
- ① スプリッタの青印 (MODEM) と本商品の青印 (ADSL回線ポート) を接続する
- ② スプリッタのLINEとモジュラージャックを接続する
- ③ スプリッタの黄色印 (PHONE) と本商品の黄色印 (電話回線ポート) を接続する (電話回線共用タイプ (タイプ1) の場合のみ)

4 電話機を接続する

電話機に添付のケーブルを電話機ポートに接続します。

IP電話と加入電話 (NTTなど) をそれぞれ別の電話機で使い分ける場合の接続方法は、「機能詳細ガイド」の「IP電話の使い方」を参照してください。
※緊急電話 (110、118、119など) はIP電話ではご利用いただけません。

接続した電源コードは

フックにかけてご使用ください。

IP電話をご契約されていない場合

3 ADSL回線に接続する

- ※ADSL専用回線タイプ (タイプ2) の場合もこの手順で接続してください。
- ① スプリッタの青印 (MODEM) と本商品の青印 (ADSL回線ポート) を接続する
- ② スプリッタのLINEとモジュラージャックを接続する

4 電話機を接続する

スプリッタの黄色印 (PHONE) と電話機を接続する (電話回線共用タイプ (タイプ1) の場合のみ)

接続が終わったら確認してください

- 本商品の電源を入れると、本商品前面のPOWERランプが緑点灯します。
- パソコンの電源を入れると、本商品背面のETHERNETポート状態表示LEDが緑点灯します。
- ▶点灯しない場合は、「お使いになる前に」(別冊)の「トラブルシューティング」を参照してください。

WD605CVをご利用の方のみご覧ください

VoIPランプが赤点滅している場合は加入電話 (NTTなど) の極性が反転しています。この状態では、電話機によっては着信音が鳴らない場合や、以下のサービスなどが正常に動作しない場合があります。
● ナンバー・ディスプレイ ● ネーム・ディスプレイ
● マジックボックス ● モデムダイヤルイン
その場合は、本商品背面の極性切替スイッチを逆に切り替えてください。スイッチ切り替え後、VoIPランプが消灯していることを確認してください。



VoIPランプの確認および極性切替スイッチの切り替えは、必ずPPPランプが点灯する前に行ってください。PPPランプが点灯したあとは、加入電話 (NTTなど) 回線の極性が反転していても、PPPランプの点灯と同時にVoIPランプの赤点滅が停止します。

STEP 3

ランプ状態を確認しよう

接続確認のテストが自動的に始まります。テスト完了まで5分ほどお待ちください。

テスト中のランプ状態は下記のように変化します。

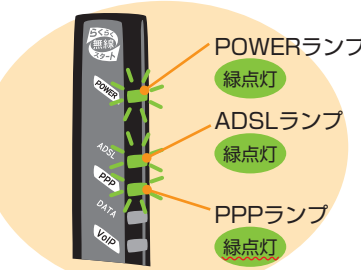


※ADSLランプが緑点灯しないと、PPPテストおよび接続確認のテストが始まりません。ADSLランプが緑点灯しない場合は、「お使いになる前に」(別冊)の「トラブルシューティング」を参照してください。

5分ほど待ったあと、ランプの状態を確認し、それぞれのSTEPへお進みください。



STEP 4 へ進む



STEP 5 へ進む

インターネットに接続する前に、お使いのパソコンについて下記をご確認ください。

- パソコンのネットワークの確認: 本商品をご利用の際は、パソコンのネットワークの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」になっている必要があります。確認のしかたについては、「お使いになる前に」(別冊)にある「トラブルシューティング」の「パソコンのネットワークを設定する」を参照してください。
- ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止: 本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止しない (起動したまま) と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(パソコンによっては、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。) 停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。
- WWWブラウザの設定確認: インターネットに接続するには、WWWブラウザ (Internet Explorerなど) の接続設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっている必要があります。また、クイック設定Webを使用するときは「JavaScript®を有効にする」設定になっている必要があります。設定されていない場合は、裏面の「クイック設定Webをご使用になる前に」を参照して設定してください。

STEP4

インターネット接続設定をしよう

設定を行う前に、表面の「インターネットに接続する前に、お使いのパソコンについて下記をご確認ください。」をご確認ください。

1

WWWブラウザ（Internet Explorerなど）を起動し、アドレスに<http://web.setup/>と入力して、クイック設定Webのページを開く

本商品のIPアドレスを入力して開くこともできます。
(工場出荷時は192.168.0.1です。) 例: <http://192.168.0.1/>

2

管理者パスワードの初期設定を行う

管理者パスワードは画面に従って任意の文字列（任意の半角英数字64文字まで）を入力してください。

3

「設定」をクリックする

設定1（初期値のまま）を選択します。

4

設定パターンを選択する

設定1（初期値のまま）を選択します。

5

接続先の設定をする

プロバイダ／接続事業者の資料に従って設定してください。

6

入力完了したら、「設定」をクリックする

入力完了したら、「設定」をクリックする

7

IP電話の設定をプロバイダ／接続事業者の資料に従って入力する

※IP電話をご利用にならない場合やあとから設定する場合は、そのまま「設定」をクリックします。

8

入力完了したら、「設定」をクリックする

入力完了したら、「設定」をクリックする

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。本商品がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、本商品を初期化してはじめてから設定し直すことをお勧めします。いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

初期化の前に

初期化を行う前に、本商品側面のディップスイッチがすべて「OFF」側になっていることを確認してください。

本商品前面のらくらくスタートボタン（INITスイッチ）を使って初期化を行います

1 電源を入れた状態で本商品前面のらくらくスタートボタン（INITスイッチ）を5秒以上押し続ける

2 POWERランプが緑点滅することを確認してらくらくスタートボタン（INITスイッチ）を離す

3 本商品の電源ジャックをいったん取り外したあと、10秒ほど待ってから、再び差し込む

STEP5

インターネットに接続しよう

インターネットに接続して接続状態を確認してみましょう。

1 WWWブラウザ（Internet Explorerなど）を起動する

2 外部のホームページを開く
例）ホームページ：<http://www.aterm.jp/eaccess/>

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。本商品がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、本商品を初期化してはじめてから設定し直すことをお勧めします。いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

初期化の前に

初期化を行う前に、本商品側面のディップスイッチがすべて「OFF」側になっていることを確認してください。

本商品前面のらくらくスタートボタン（INITスイッチ）を使って初期化を行います

1 電源を入れた状態で本商品前面のらくらくスタートボタン（INITスイッチ）を5秒以上押し続ける

2 POWERランプが緑点滅することを確認してらくらくスタートボタン（INITスイッチ）を離す

3 本商品の電源ジャックをいったん取り外したあと、10秒ほど待ってから、再び差し込む

STEP6

IP電話の確認をしよう

IP電話をご利用になる場合はVoIPランプが緑点灯していることを確認してください。

1 VoIPランプが緑点灯している場合は、IP電話がご利用いただけます。

2 市内にIP電話をかける場合も、必ず市外局番をつけてください。

3 VoIPランプが緑点灯の状態でない場合は、IP電話のご契約をされていないか、STEP4の7で設定した値が正しくない、または何も設定されていないことが考えられます。

クイック設定Webのご利用について

さらに様々な機能をご利用になる場合は、クイック設定Webで個々の設定を行います。クイック設定Webの使い方については、「機能詳細ガイド」（ホームページに掲載しています。）→「マニュアルの見かた」参照）の「クイック設定Webの使い方」をご覧ください。

●クイック設定Webの起動のしかた

1 WWWブラウザ（Internet Explorerなど）を起動します。

2 WWWブラウザのアドレスに「<http://web.setup/>」と入力して、[Enter]キーを押します。

3 下の画面が表示されたら、管理者パスワードの初期設定を行います。

管理者パスワード記入欄

管理者パスワードの設定が済んでからクイック設定Webを起動した場合は、右の画面が表示されます。

4 「クイック設定Web」画面が表示されます。

クイック設定Webをご使用になる前に

クイック設定Webをお使いになる前に、お使いになるパソコンのWWWブラウザ（Internet Explorerなど）について以下の確認を行ってください。

■対応しているWWWブラウザのバージョン確認

●Windows® XP/2000 Professional/Me/98の場合

●Mac OS X/9.x/8.xの場合

■WWWブラウザの設定確認

●JavaScript® の設定が有効になっていることが必要です。

●接続設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」設定になっていることが必要です。

●●● WWWブラウザの接続設定の確認 ●●●

右記はWindows® XP/2000 Professional/Me/98でInternet Explorer Ver.6.0をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので、詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

1 Internet Explorerを起動します。

2 「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。

3 「接続」タブをクリックします。

4 「ダイヤルアップ」の設定の欄で、「ダイヤルしない」を選択してください。

5 「LANの設定」をクリックします。

6 「LANにプロキシサーバーを使用する」と「設定を自動的に検出する」の☑を外します。

無線LANをご利用になる場合

無線LANサービスをご利用になるためには、本商品装着用の無線LANカードと無線LAN端末（子機）が必要です。

無線LANカード（子機）について

無線LANカード（子機）は、別途ご購入ください。

無線LAN端末（子機）について

無線LAN端末（子機）は、別途ご購入ください。

無線LAN端末（子機）にAterm WL54AGをご利用の方のみご覧ください

無線LANの添付品に「CD-ROM（ユーティリティ集）」が同梱されている場合は、CD-ROMをご参照のうえ、接続設定を行ってください。

<http://www.aterm.jp/bb-info/>

5年保証

本商品は「らくらく無線スタート」対応機種です。

1 本商品には、あらかじめネットワーク名（SSID）、暗号化の設定がされています。

2 本商品には、あらかじめネットワーク名（SSID）、暗号化の設定がされています。

マニュアルの見かた

本商品のマニュアルは次の通りです。ご使用の目的に合わせてお読みください。

お使いになる前に（別冊）

機能詳細ガイド

IP電話使いかたガイド（別冊）

契約を解約するときは

契約を解約される場合は、ご契約のプロバイダへ必ずご連絡ください。

この商品を廃棄するときは、廃棄物の処理および清掃に関する法律にもとづき自治体の定める処分方法に従って処理してください。

ADSLモデムにはインターネットに接続するための認証ID、パスワード、その他IP電話番号などが設定されています。

接続できない・うまく設定できないときは

本商品に添付の「お使いになる前に」（別冊）の「トラブルシューティング」を参照してください。